

土壌分析用サンプル 採取方法

- (1) 分析したいエリアを決める。
- (2) 対象エリアから専用サンプラーなどで土壌を採取する。
- (3) ビニール袋に「ゴルフ場名（又は氏名）・サンプル名」を油性マジックで記入する。
- (4) ビニール袋に土壌サンプルを入れ、中身がこぼれないよう封をする。
- (5) 分析依頼書とともに研究所へ送る。

【専用サンプラー（φ210）でサンプリング】

表層部からの深さ 70~100mm まで抜き取り、上部 10mm（主に芝草とサッチ層）を切り落とす。

対象エリア全体から満遍なくサンプリングし、20 本程度抜き取る。

砂地等で深さが 100mm まで採取できない場合は抜き取り本数を増やし土壌量を調節し、その旨を「分析依頼書」の特記事項欄に記載する。

【エアレーション後のコアをサンプルとする場合】

エアレーション後のコアを分析サンプルとする場合は土壌量がホールカップ 1 個分（深さ 100mm）に匹敵するように採取する。

コアの場合、芝など土壌以外の不純物が多く、見た目の量より分析に使用できる土壌量が少ないため。

「分析依頼書」の特記事項欄にコアであることを記載する。

【ホールカッターでサンプリングする場合】

対象エリアの平均的な場所から採取する。

深さ 100mm まで抜き取り、上部 10mm（主に芝草とサッチ層）を切り落とす。

「分析依頼書」の特記事項欄にホールカッターで採取したことを記載する。

【その他の場所(畑など)】

対象エリア全体から複数箇所サンプリングを行う。

生育層に当たる深さを採取する。

採取した土壌をきれいなバケツ等に入れよく混ぜ合わせる。

そこから 500mL ペットボトル 1~2 本分の量を分析サンプルとする。

水質分析用サンプル 採取方法

- (1) 分析する項目を決める。
- (2) 分析項目に微量元素（亜鉛、銅、マンガン、鉄）を含む場合は 2L、含まない場合は 1L の水が必要です。
- (3) きれいなプラスチックボトルまたはペットボトル（なるべくミネラルウォーターが入っていたものを使用すること）を用意する。採水用ボトルの貸し出し有り。
- (4) ボトル内を分析したい水で最低 3 回洗う。
- (5) 浮遊物やゴミが入らないように注意してボトルの口いっぱいまで水を入れる。（なるべく空気が入らないよう注意する）
- (6) しっかりと口を閉じる。
- (7) ボトルの表面に「ゴルフ場名（個人の場合は氏名）、サンプル名」を油性ペンで記入する。
- (8) 分析依頼書とともに研究所へ送る。